

## ◇◇ 一般公開 “土木の日” ◇◇

— 「土木の日2012」レポート（つくば） —

国総研旭庁舎では、独立行政法人土木研究所と協力して、11月10日（土）に実験施設等の一般公開を行いました。今年は天候に恵まれ、子どもたちを中心に一般市民の方、職員のご家族など1,111名の方々に来所いただきました。

今回のイベントでは、来所者の皆様に、広く土木事業や研究所の仕事を理解していただくために、以下のコンテスト、実験施設の見学や体験コーナーを実施いたしました。

### ◇ボール紙でつくる橋コンテスト

橋コンテストは子どもたちにもものづくりの楽しさを体験してもらうために毎年行っており、今回が19回目になります。対象はつくば市内の小学五年生で、今回は28校から380名、333作品の参加がありました。事前に美術専門家、教育関係者、橋梁専門家による審査会を開き、当日は最優秀賞3作品、美術デザイン賞5作品、構造デザイン賞5作品、努力賞5作品の計18作品を表彰しました。



受賞者のみなさん



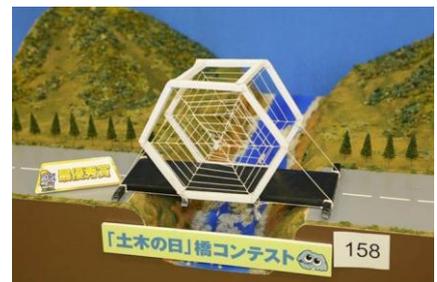
応募作品の展示



リバーシブルスターブリッジ



風車



スパイターウェブブリッジ



## ◇実験施設公開・展示



### 【試験走路】

一周約6kmの試験走路をバスで走行しながら、走路内にある様々な道路関連の実験施設を紹介しました。普段は体験できないバンク部の走行や見学に大きな歓声があがっていました。



### 【走行時非接触給電システム】

走行中の電気自動車に道路から電気を送る仕組みについて、実際に車の模型を走らせながら、わかりやすく紹介しました。



### 【ダム水理実験施設】

ダムに貯まった土砂の除去方法に関する研究を紹介しました。また、施設内の2階にある渡り廊下より、実際に水の流れているダムの模型を見学してもらいました。



### 【舗装走行実験場】

舗装走行実験場では、人工衛星を利用して無人で走る荷重車や、各種舗装について紹介するとともに、実際の走行の様子について見学してもらいました。



### 【土石流発生装置】

土石流発生装置（山の斜面の模型）を用いて、砂防施設の有無による土石流の家屋被害の違いを見てもらい、土石流の特徴や対策施設の効果、土砂災害の恐ろしさ等について知ってもらいました。



### 【河川屋外実験施設】

実験施設や川の流れについて紹介した後で、紙片を流して川幅の違いによる水の流れ方について観察してもらいました。



**【橋梁撤去部材展示】**

実際に使用されていた橋梁の撤去部材（損傷部材）を間近で見学することで、維持管理の必要性について知ってもらいました。



**【働く自動車の展示】**

関東地方整備局にご協力いただき、働く自動車（ポンプ車と照明車）の展示と、関東地方整備局が取り組んでいる事業の紹介を行いました。

**◇土木体験教室等**



**【アスファルトって何だろう？】**

アスファルトの材料や性質について勉強してもらった後で、模擬アスファルトを使った実験を行いました。



**【水がきれいになる仕組みを知ろう！】**

家庭から排出された水が流れる大切な下水管が壊れていないかをテレビカメラで調べる様子や、下水がきれいになる仕組みをパックテストや顕微鏡を使って体験してもらいました。



**【景観シミュレーション】**

来場者がパソコンを操作し、町をコンピュータの中に作りました。さらに、自分で作った町を色々な視点から立体視したり、中を歩き回ったりしました。



**【コンクリートを作ってみよう】**

コンクリートとはどのようなものなのか、その材料は、その便利さはなどなど、実際にコンクリートの置物を作りながら楽しく勉強してもらいました。



【アーチ橋の模型を作ろう！】  
ペーパークラフトでアーチ橋の模型を作ってもらいました。



【ぞうさんと写真撮影】  
土木研究所のマスコット「ぞうさん」と記念撮影をしてもらいました。



【災害対応等パネル展示】  
災害における国総研、土研の取り組みについて、パネルで紹介しました。

◇関連イベント

吾妻中学校吹奏楽部による演奏、職員による和太鼓演奏、バンド演奏、バイオリンとピアノ演奏が土木の日を盛り上げてくれました。



吾妻中学校吹奏楽部



和太鼓



バンド



バイオリンとピアノ